

74 大仏鉄道が走っていた

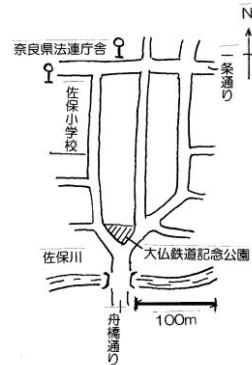
一名古屋と大阪を結ぼうとした路線の一部ですー

翔太君こんにちは。「大仏鉄道ってどこを走っていたのですか」という手紙への返事です。

大仏鉄道は明治 31 年に関西（かんせい）鉄道が開通させた奈良と京都府の加茂を結ぶ路線です。終点の大仏駅は今の奈良市法蓮町にありました。私が生まれたのはこの近くで小学校 2 年まで住んでいたのですが、「昔はここに汽車が走っていたんだ」と教えてくれました。



父の話では、佐保小学校の南にある三角形の空き地が大仏駅の跡で、今は「大仏鉄道記念公園」になっています。奈良の町というと、条理制の名残で東西南北に道が通っていますが、このあたりに図のように斜めに走る道があるのは鉄道が通っていたせいなのかなと思ったことを覚えています。



北に行くと、昔、汽車が走っていたという黒髪山トンネルがありました。この中で「アー」と声を出すと「アー」とこだまが返ってくるの

が面白く、何度も連れて行ってもらいました。今、トンネルはなくなって新しい道ができ、高いところに橋がかかっています。昔の山の上なのでしょう。

この大仏鉄道、まだいくつかの遺構が残っていて、奈良市のお隣の木津川市には大仏鉄道研究会が作られ、貴重な遺跡として保存しているという活動が続けられています。



(平成 25 年 10 月・小 6 の翔太君宛て)

スポットの案内

大佛鐵道記念公園は、JR 奈良駅から北へ舟橋通りを抜けたところ、奈良交通バス佐保小学校前下車、南へ約 200m のところにあります。

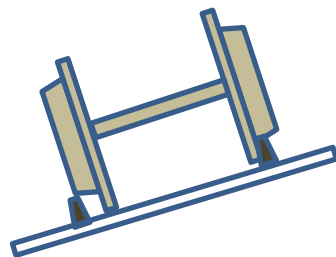
理科のワンポイント「カーブを曲がる」

「レールがあるから電車の運転は簡単だろう」と思いませんか。私が土佐電気鉄道の運転体験に応募して当選、電車を運転させてもらったのは平成 13 年のことでした。確かにレールに沿って曲がっていきますから何もすることはありません。ただ、ブレーキの操作が大変なのです。その訳はいつかお話しします。カーブを曲がるのは簡単だと言いました。私は楽でしたが、電車が一苦勞してくれているのです。ボギー台車に取り付けられた 2 軸 4



輪にはカーブを曲がるための素晴らしい工夫があるのです。

カーブのところでは外側のレールを高く、そして、レールとレール
の間を少し広くしてあります。一方、電
車の車輪がレールに接する面（踏面）に
は勾配がついています。したがって、図
で分かるように直径が外側では小さ
く、内側では大きくなっています。これ
が工夫のポイントなのです。



電車がカーブにさしかかると、遠心力で車体は外側に押し出されま
す。すると、内側の車輪は直径の小さな部分が、外側では直径の大き
な部分がレールに接することになります。ですから、1回転する間に
進む距離は、内側では短く、外側では長くなるのです。こうして電車
はスムーズに曲がっていくのです。